

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 光と風と夢

代表者・役職名 氏名 理事長 小倉 淳

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

真如苑「shinjo プロジェクト」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2016年9月に設立した当法人は、千葉県市原市青柳に法人を構えました。この地を選んだ理由は、地域の助け合い、育てあいという「共助」という、強い繋がりが残る地域だったためです。当法人の主とする事業は、両親や身内からの虐待等により、親元から離れて暮らすことを余儀なくされた子ども達のための生活の場である「児童自立生活援助事業」と、人と人とが繋がりを交流を通じ、人間味が深まるような「地域交流事業」を実施しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームに対しての、国からの助成金は十分ではありません。継続的に運営していくためには措置費に頼らざるを得ないのが実状です。しかし、社会情勢に伴い、貧困や虐待の連鎖は後を絶ちません。児童相談所への虐待相談件数は毎年増加しています。このようなことから、より継続的に自立援助ホームを運営していくためにも、子ども達を支えご理解いただける支援者が増えていくことが必要だと考えます。広報活動により、当法人への理解者・協力者が増えていき、虐待防止や子育て相談等にも繋がれると考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

自立援助ホーム「みんなのいえ」を広く知ってもらうことを目標とし、子ども達が社会へ巣立つことができるように多くの方々に情報を発信し、ご理解、ご協力を深めていきたいと思っています。そのためにも自立援助ホームを知っていただき、「みんなのいえ」をイメージしやすく、応援していただける気持ちになるようなパンフレット、ホームページ等の広報ツールが必要だと考えています。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

パンフレットを作成したことで、対外的な場面(地域の行事、市内行事等)において、子どもへの虐待の実情や実態から自立援助ホームの社会的役割への理解、関心を得られる場が増えました。また、自立援助ホーム「みんなのいえ」への訪問者やご支援をしてくださる方が増えました。ホームページ作成では、自立援助ホームへの理解はもちろん、ブログを通じて、「みんなのいえ」の生活の様子や、子ども達とスタッフで、どのような相談や支援があるのか、出来るだけ客観的、かつリアルに伝えることで、ホームページへのアクセス数が増え、お問合せもいただけるようになってきています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当法人の活動主旨や、実践を多くの方々に知っていただく機会は、まだまだあると思っています。虐待や子育て不安、自立援助ホームがあるということを知ってもらうことだけに満足せず、今後ご支援、ご協力いただける方が増えていけるよう、広報活動はもちろん、社会で、地域で信頼されるような自立援助ホーム「みんなのいえ」を目指していきたいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

↓
1/21 ホームページにアップは.
パンフレットに記載させて
いただいた URL から
ご覧下さい。